

<研究ノート>

「91 カ条規則」の成立過程の謎

古川 肇

はじめに

本誌前号に掲載された筆者の論考（以下「旧論」）¹⁾のうち、「Ⅱ. 研究ノート」の「4. パニッツィと91 カ条規則」（同号8-9 ページ）については、旧論の本筋ではないものの、その後さらに検討を進めるにつれて論述の不足が明らかになった。この原因は、カーペンターの論文（以下「C 論文」）²⁾の発見が遅れ投稿締切日までに十分読み込めなかったこと、およびオズボーンの著作³⁾について存在を知らず締切日までにテキストを入手できなかったことにある。これらのうち C 論文は、2 点の極めて注目すべき内容を含んでいて、筆者は91 カ条規則の成立過程が謎に満ちていることを知った。以下、この紹介も兼ねて旧論の上掲箇所の補説・補正を試みる。

1. 91 カ条規則の草案

何はさておき、小論が立脚する一つの史実（証言）を記す。

1847 年 6 月に発足した英国議会の Royal Commission on the Constitution and Government of the British Museum（以下「委員会」）の公聴会において、1848 年 7 月 13 日のこと、パニッツィは次のように、91 カ条規則が当初は 73 カ条から成り（以下「原案」）、途中で 79 カ条となった（以下「中間案」）と証言した（Q を冠した番号は、委員会報告書（大部分は公聴会での質疑応答の記録）⁴⁾における質問番号）。

[The rules] were not 91 originally; they were only 73. [...] The rules then were 79, and then came to be 91, by all the additions and alterations made in Sub-Committee. (Q4117)

筆者は旧論において、73 カ条から成る原案の存在に触れその一部について C 論文中の引用を再引用したが、改めて C 論文によると、原案テキスト 8 ページを含む全 28 ページ（原案の他は 2 つの例示群）の冊子は、次のように大英博物館図書館の前刊本副部長ハリス(P.R. Harris)がカーペンターのために 1988 年 7 月 4 日に発見するまで、不正確な記号を付与されて誤配置されていた(mislaid)という。これは衝撃的な事実である。

These 73 rules, printed without date, and titled *Alphabetical Catalogue of Printed Books. Rules to Be Observed in Preparing and Entering Titles*, were mislaid through having been incorrectly marked in the archives of the British Library's Department of

Printed Books, until Mr. P.R. Harris [...] found them for the present writer [i.e. Michael Carpenter] on July 4, 1988⁵⁾.

次に中間案に関して、20 世紀中頃にオズボーンはこれを原案と思い誤っていた。これも衝撃である。

For the printed author catalogue which Panizzi planned and organized [...] he drew up a set of 79 rules [...] Unfortunately the trustees [...] meddled with them [...] and were decidedly inferior⁶⁾.

この記載を踏まえて日本の一研究者は、自著に「パニッチー (ママ) の起草した原案は 79 条からなっていたのであるが、図書館の評議員会が蛇足を加えてしまって 91 条にした⁷⁾。」と記した。このほか米国のある図書館情報学辞典は C 論文公刊後の 2018 年にもなって (C 論文の公刊は注のように 2002 年)、まだオズボーンの誤謬に依拠した部分を旧版のままにしている⁸⁾。要するに、上記のパニッツィの証言の存在にもかかわらず (委員会報告書の公刊は注のように 1850 年)、いつからか長年月にわたってこの誤謬が続いていることになる。なお、C 論文は次のように中間案本文が所在不明だと記す。

An intermediate printing, containing 79 rules and some of the revisions of the Trustees, is yet to be found⁹⁾.

2. 共同作業の時期

C 論文の注目すべき第 2 点は標記に関してである。旧論で列挙したように 91 カ条規則の作成に際してはパニッツィに 4 人の協力者がいたが、C 論文は 5 人全員による共同作業の時期を改めて問う。これは新資料に基づいてではなく既存の文献を読み込んでの主張である。共同作業について言及しているのはパニッツィを除けば、4 人のうちエドワーズ (Edwards, Edward) とパリー (Parry, John Humffreys) だが、旧論ではエドワーズの回顧による旧来の説を記した。だが C 論文は、30 年後のエドワーズの記憶 (その間にパニッツィとの間に揉めごともあった) より 10 年後のパリーの証言の方に信を置き¹⁰⁾、共同作業は原案作成時にはなくその改変時に行われたのだと主張する。以下に C 論文が挙げる三つの根拠を原文の順に従って紹介する。

(1) 委員会報告書の付属文書¹¹⁾ー パニッツィは、目録規則を作成しそれを理事会の承認を得るため提出することを許可するよう、1839 年 3 月 8 日に理事会に求めた。理事会が翌日この手続きを認めたところ、パニッツィは僅か 9 日後の同月 18 日に規則を提出した。この日数の短さからおそらく予め規則は完成されていて、この規則とは原案に当たると C 論文はいう¹²⁾。

さて、提出後に理事会内に小委員会が設置され（時期により名称と人数に異同がある）、同年 3 月 20 日から 7 月 13 日まで 9 回審査が行われた（ただし最終回は形式的な承認）¹³⁾。

(2)パニッツィの証言－彼は次のように、理事たちが命じるように改変するため、助手たちと自分は数週間にわたり、終日作業したと証言した。C 論文は、当該証言の引用に当たって“to the Sub-Committee”以下をイタリック体に変えて強調している。

When we drew up these rules [...] my assistants and myself worked all the day long for weeks [...] to submit the rules from time to time, and with the utmost dispatch, to the Sub-Committee of Trustees, altered as they ordered. (Q4121)

(3)パリーの証言－彼は次のように、自分たちは 1839 年 3 月に集まり規則について熟考し、規則は 7 月中頃に確定したと思う、と証言した。確かにこの期間は、上記の小委員会の審査期間と完全に一致する。

I believe we met to consider the rules in March, 1839; they were finished about the middle of July [...] (Q7317)

なお、筆者自身も C 論文を補強する記載を二つ見出したが¹⁴⁾、煩雑さを避けてここでは紹介を省く。ともあれ C 論文は上記の 3 箇所の記載によって共同作業は理事会の要求に対処するために行われたと考え、さらに原案はこの時期以前にパニッツィ自身が作成したに相違ない(Panizzi must have composed the 73 rules himself)と推理するのである¹⁵⁾。

この推理が正しいとすれば、91 カ条規則に「パニッツィの」を冠することは旧論で述べたように依然として不適切である一方、原案に限れば適切ということになる。

おわりに

実は 91 カ条規則は、刊本部長としてパニッツィの前任者であったバーバー(Barber, Henry Hervey, 1775-1869)が作成した 16 カ条から成る目録規則¹⁶⁾の改訂版でもあった。したがって、旧論に「目録規則という表現形式は、英国では 91 カ条規則が最初と見られる¹⁷⁾」と記したのは誤りである。

完成して程ない 91 カ条規則のテキスト等は、委員会報告書付属文書集（注 11 を参照）の 185 ページから 197 ページに掲載されている（ただし各ページ左に本文が右に例示が掲示されている¹⁸⁾）。注目すべきは、タイトルがまだ原案と同一（句読法を除く）であることで、我々が 1841 年刊行の蔵書目録の冒頭に見る *Rules for the Compilation of the Catalogue* は後の改題と見られる。

C 論文によれば理事たちは公聴会で改訂の論拠(reasoning)を開陳していない(not disclose)ので、我々は原案と 91 カ条規則とのテキストどうしを虚心に読み比べるほかはな

い。ところが、C論文の末尾に原案を近く(in the near future)復刻したいと記してありながら¹⁹⁾既に約二十年が経ち、カーペンターがこの存在を知った1988年から数えれば三十年以上が経過するというのに、相変わらず公開されていない。これこそ最大の謎といえるかも知れない。彼の身に何か起きたのか、権利関係の障壁でもあるのか、それとも実はとっくに公刊済で単に筆者自身の探索不足に過ぎないのか。最後であることを筆者は願っている。

原案と対比してもいない状態であえて91カ条規則の歴史的な位置づけを試みるならば、パニッツィが理事たちによって驥足を伸ばすことを掣肘され自らも旧時代からの形式標目を多く登用した結果、同規則は近代目録法の夜明けを告げるものとはなり得ずに、近世と近代との間の過渡的な存在にとどまり、近代の目録規則の創出は所を変えて米国の図書館人に委ねられなければならなかった(産業革命の開始を近世と近代との境界とする)。

なお、カーペンターはテイラー(Taylor, Arlene G.)への私信の中で、ジューエットは、原案に存在しながら91カ条規則では失われてしまった団体著者を認める規定²⁰⁾を、原案から複写した(copied)、と述べているという²¹⁾。この新たな衝撃を記して小論をひとまず閉じる。

付記

ここまで書き進めた後、筆者は近所の書店の棚で新刊のある文庫本に、パニッツィに関するまとまった記載を見出した。以下、その一部をやや長く引用する。

一八三六年、彼〔パニッツィ〕は博物館の理事会に提出した報告書のなかで、「目録の第一の重要な目的は、蔵書の一部を形成している著作を取り出しやすくすることである」とはっきり述べている。しかも目録は司書にとっての便利な道具ではなく、「一般庶民がこのような施設に当然あると期待する」道具である。[...]彼の仕事ぶりには徹頭徹尾、民主主義への熱い思いがみなぎっている。この報告書で明らかにしているように、「貧しい学生にも同じように、学問の好奇心を満足させる手段を与えてやりたい」と願い、理事会に対して、「この王国のもっとも裕福な人間と同じように、まっとうな探究心の赴くままに、同じ権威者に教を乞い、もっとも難解な研究にも深い洞察力をもって取り組めるようになってほしい.....政府はこの点に関して、もっともリベラルで無限の援助を与える義務があると私は強く主張する」と書いている。パニッツィにとって、つましい図書目録は単なる蔵書リスト以上のものであり、知の世界への案内役以上のものでさえあったはずだ。それは社会そのものを変える手段にもなりそうに思えた²²⁾。

1836年はパニッツィが刊本部長に就任する前年であり、文中の鍵括弧内は委員会報告書の付属文書集(注11を参照)130ページ前後からの引用と思われる²³⁾。

注

- 1) 古川肇「ルベツキイの最終論文を読むールベツキイから見たパニッツィー」『メタデータ評論』1, 2021.5. p.1-15. <http://techser.info/wp-content/uploads/2021/04/45b4b1b3f00d38fdbd98bef0420e1676.pdf>
(最新アクセス日: 2021/9/24)
- 2) Carpenter, Michael. "The Original 73 Rules of the British Museum: A Preliminary Analysis," *Cataloging & Classification Quarterly*, 35(1/2), 2002. p.23-36.
- 3) Osborn, Andrew D. *Descriptive Cataloging*. Preliminary Edition. 1963. 186p. #1 - Descriptive cataloging. - Full View | HathiTrust Digital Library.
<http://hdl.handle.net/2027/mdp.39015030784865> (最新アクセス日: 2021/9/24)
- 4) *Report of the Commissioners Appointed to Inquire into the Constitution and Government of the British Museum : with Minutes of Evidence : Presented to both Houses of Parliament by Command of Her Majesty*. 1850. iv,44,823p. 閲覧は次の電子化版による。READ: Report Of The Commissioners Appointed To Inquire Into The Constitution And Government Of The British Museum - FREE FULL EBOOK (getbookfast.com) <https://www.getbookfast.com/now/report-of-the-commissioners-appointed-to-inquire-into-the-constitution-and-government-of-the-british-museum/>
(最新アクセス日: 2021/9/24)
- 5) 前掲 2 p.24.
- 6) 前掲 3 p.9.
- 7) 中村初雄『図書館資料組織論』1969. p.21.
- 8) *Encyclopedia of Library and Information Sciences*, edited by John D. McDonald and Michael Levine-Clark. 4th ed. 2018. p.759.
- 9) 前掲 2 p.24.
- 10) ちなみにパニッツィの代表的な評伝は、バリーを“Perhaps the most telling witness yet to appear on Panizzi's behalf”と評している。Miller, Edward. *Prince of Librarians: The Life and Times of Antonio Panizzi of the British Museum*. 1967. p.182.
- 11) *Appendix to the Report of the Commissioners Appointed to Inquire into the Constitution and Management of the British Museum*. 1850? pp.302-303.ただし筆者は本書を未閲覧であり(国立国会図書館は非所蔵、CiNii Booksによれば東京大学総合図書館が自動書庫に所蔵)、前掲 2 p.27による。本書は前掲 4 の附属文書集で、部分的には次の復刻がある。“Mr. Panizzi to the Right Hon, the Earl of Ellesmere. - British Museum, January 29, 1848.” In: *Foundations of Cataloging : A Sourcebook*, edited by Michael Carpenter and Elaine Svenonius. 1985. pp.18-47.
- 12) 前掲 2 p.27.
- 13) 前掲 2 p.33.
- 14) 委員会報告書におけるパニッツィの証言(Q9641) および Francis, F.C. “A Reconsideration of The British Museum Rules for Compiling the Catalogues of Printed Books, I.” In *Cataloguing Principles and Practice: An Inquiry*, edited with an introd. by Mary Piggott. 1954. p.35.

15)前掲 2 p.28.

16)次の文献中に復刻されている。Francis, F.C. “A Reconsideration of The British Museum Rules for Compiling the Catalogues of Printed Books, I.” In *Cataloguing Principles and Practice: An Inquiry*, edited with an introd. by Mary Piggott. 1954. p.32-33.

17)前掲 1 p.9.

18)前掲 2 p.32 による。

19)前掲 2 p.36.

20)前掲 2 p.28. (前掲 1 p.10-11 に再引用)

21)Taylor, Arlene G. *Organization of Information*, by Arlene G. Taylor and Daniel N. Joudrey. 4th ed. 2018. p.77,92.

22)Battles, Mathew 著 白須英子訳『図書館の興亡ー古代アレクサンドリアから現代までー』(草思社文庫) 2021. pp.193-194. 単行本は 2004 年刊、原著は 2003 年刊。

23)前掲 10 p.117 により推測。

【訂正】 本誌創刊号 15 ページ 最終行 一誤 48 正 50

(ふるかわ はじめ)
2021 年 10 月 10 日受理